

事務事業名	河川改修事業（市単独事業分）	整理番号	25402-010
所 管	土木課 企画調査・登記スタッフ		

事務事業の位置付け

期 間	昭和 61年度 ~ 平成 年度	根拠法令・要綱等	静岡県準用河川等改修費補助金交付要綱
基本計画における位置付け	基本政策	2-5 防災体制の充実	関連政策
	政 策	2-5-4 環境共生型の治山・治水	

事務事業の内容

目的 (何のために)	浸水被害、沿岸侵食等災害防止のため
対象 (誰・何を)	市民全般
手段 (どのようなやり方で)	普通河川の部分的修繕及び全面的な河川改修整備
成果 (どのような状態にしたいか)	災害防止、環境改善が期待される。
事務事業の背景・住民の意向	大雨時の災害防止及び濁水時の雑排水による悪臭対策として環境整備に対する要望が強い。
見直し改善の経過	

事務事業の実績・投入コスト

年度	事務事業実績	投入コスト(千円)
平成18年度	4河川 L = 367.8m	
平成19年度	8河川 L = 683.8m	
平成20年度	9河川 L = 574.0m	

評価指標

--	--	--

事務事業の評価

担当部署の評価		コメント	今後の方向性
観点別評価	必要性	近年地球温暖化の影響で、100ミリを越す豪雨が頻繁に発生しており、市民の生命財産を守る上でも河川改修の必要性が増している。	継続
	有効性		
	効率性		
総合評価	B		

改革プラン

平成21年度からの対応	要望箇所については、市が優先順位をつけ実施する。
平成22年度以降の対応	要望箇所については、市が優先順位をつけ実施する。
改革により予想される成果	必要性の高い河川を中心に事業を行う。

事務仕分けの結果

仕分け区分	今後の方向性・具体的な対応
市の実施(改善)	原則として単年度ごとの事業であるので、緊急修繕のみの実施とし、その他は凍結する。
仕分け理由	
事業の必要性を精査し、市費、市債の縮減を図る。	